

同窓会報

第30号

平成25年7月22日

発行
宮城県泉松陵
高等学校同窓会
☎022-373-4125

印刷
創文印刷出版(株)
☎022-222-0181



同窓会長 13回生 小野裕介

小さな思い出

私は同窓会会長という立場上、年に数回松陵高校へ行く機会があります。高校に入学した時から早いもので二十年経ちました。何度も松陵高校へ行っているとあまり感じませんがよくよく考えてみると自分の在学中とは学校も変わったなと思います。

私の在学中は毎日の昼食は母親の作った弁当でした。寝坊して慌てて家を出た時、うっかり弁当を忘れてしまったと、校舎の二階、進路室の脇にあった売店でパンを買いにかねばなりません。入口は狭く多くのかね徒が殺到するのでパンを買うのも一苦労でした。それも昼休みには狙っていたチーズコッペなど売り切れてしまうので、二、三時間目の休み時間に急いで買いに行ったものでした。売店ではジュースもよく買いましたが、夏が近づいて暑くなると、自動販売機にはない、五百mlの紙パックの大きなジュースが入荷し、ああ、夏だな、と感じたものです。

当時を振り返って共感してくれる人もいるのではないのでしょうか。小さなことですが私の良い思い出となっています。

今の松陵高校には売店もあります。が、場所も変わってしまいました。二階は合宿所がある陵風会館という建物があります。弁当を忘れても学食

で昼食を食べることができるようです。自分たちの時になかったので、とても聞かれます。たまたま聞かれるのですが、同窓会の会長をしているので多くの人の連絡先を把握していると思われていますが、実はわかりません。今は個人情報も厳しく、学校に問い合わせても多分わからないでしょう。どうか教えてください。年月がたつと、高校時代を懐かしみ友人や恩師に会いたいと思う人たちが増えてきてなんとか連絡先を知りたいという話も聞きました。そのきっかけとして年に一度開催している同窓会の総会に参加してみたいか、がどうか。この会報にも掲載しています。同窓会に参加して思わぬ人に再会する、といったこともよくあります。友人や恩師に出会えるかもかもしれません。これを読んだことが参加のきっかけです。是非会場でお待ちしております。

現在の三年生が卒業すると松陵高校の同窓生はついに一人を超えます。これは大変な数だと思います。泉松陵高等学校は県内でも歴史を重ねてきた伝統のある高校となりました。私のような小さな思い出のエピソードを持った人が一人いると思えます。みんなで松陵高校を舞台にした小さな思い出を語り合いたしましょう。



新任のご挨拶

校長 杉内弘行

この度の異動で縁があって、泉松陵高校の校長となりました杉内弘行と申します。昨年度は創立三十周年の佳節の期を迎え、新たな歩みを始めた本校に奉職できることは、身に余る光栄であり、微力ながら、尽力を傾け、魅力ある学校を作り上げていく所存であります。

さて、平成二十五年度も四月八日の始業式・入学式を機に順調にスタートしました。行事関係では、泉松陵定期戦が開催され、パレードは予期せぬ雪により中止となりましたが、五月一日の第二十八回目の定期戦では生徒たちがみごとな戦いぶりと熱心な応援を見せてくれました。男女十六競技種目に全力を尽くしました。が、僅少差で三位の結果に終わりました。

泉松陵高校総体では、新体操部は昨年引き続き第四位となりました。サッカー部は十四年ぶりの県大会出場を果たしましたが、県総体では一回戦でPK負けという残念な結果になりました。弓道部女子は団体で地区優勝を果たし、その勢いで県総体に臨みましたが、県総体ではベスト16でした。また、ソフトテニス女子も団体でベスト16でした。他の部も、持っている力を存分に発揮し、「松陵生」の維持を見せ、善戦健闘してくれました。総体後も松陵生は授業・課外講習・部活動・ボランティア活動等々様々なことに懸命に取り組む、頑張っています。

本年度は、創立三十三年目となる泉松陵高校です。三十年という伝統を踏まえて本校の果たすべき役割を考える時機を迎えているのではないかと思っています。そのためにも、生徒・教職員は決意も新たに歩み始めなければなりません。

最初の職員会議の折に、先生方には、泉松陵高校の教育方針・教育目標・校訓である「自律・啓発」、「友愛・協調」「堅忍・不撓」を基本とし、目指すべき学校の方向性として「生徒の成長を目指す学校」「志」を持ち、進路選択に応えることができる学校」「学ぶ意欲を持ち、自

己教育力の育成システムを持つ学校」「言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を向上させる学校」「地域に信頼され、地域に学び、貢献できる学校」を掲げ、生徒たちが母校に「自信と誇り」を持ち、社会に寄与できる人間に育てていくために教職員が一体となって指導・支援していただくの必要を話しました。

学校としても、生徒・教職員がよりよい学校を目指して努力することによって、卒業生・関係各位の御期待に応えられるようにと考えております。どうか同窓生の皆様方には、今後とも、ご協力とご支援ご鞭撻を頂戴いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会 総会・懇親会ご案内

日時 平成25年8月10日(土)
受付 16:30 ~ 17:00
総会 17:00 ~
懇親会 17:30 ~
会場 ホテル白萩
☎022-265-3411
会費 3,000円



※ 同封のはがきに出欠の有無等を記入していただき、50円切手貼付の上8月5日(日)必着にてご返送ください。

御招待恩師一覧 9回生 山崎進伍・川村夏生・大林 茂・守屋 賢・木村忠一・高橋三雄・浅野正彦・菅原 孝・岩泉禮次・阿部 健・望月謙吉・宮川文夫・富岡武志 19回生 福島隆嗣・板垣徳昭・針生 徹・山内明樹・小森謙二・田村泉弥・菅野 岳・鷺 貴子・安倍和子・前原正治・清原一彦

泉松陵風信録

為せば成る 試験は越えられる 故郷への道

四回生、宮城教育大学・同大学院卒
現仙台白百合女子大学勤務
佐々木貴弘

一九九八年に、故郷宮城を離れ北海道旭川に移住。新天地では、短期大学の幼児教育学科に所属し、十五年間、教育研究活動に従事してきました。職場では、本務である保育者養成に加え、課外活動の中で、「大雪像デザイン」「YOSAKOIソーラン祭り出場」「最北の大学応援団創設」など、サークル顧問としても諸活動に取り組み、学生達と賑やかで充実した時間を共にしました。さて、今春より、第二の故郷北海道を離れ、仙台市内の大学でお世話になっていきます。この決断に至った背景には、やはり先の東日本大震災があります。また、その後、各所で歌われ、私の心の中でも絶えず流れていた「唱歌ふるさと」にも深い郷愁を感じていました。この様な経緯の中で、故郷の復興に向けて、「自分が出来る事から支援していこう」と決意し帰郷を決めました。

目覚め、「教師として、いつか母校に帰りたい」と考えました。一方で、学業成績は振るわず、朝夕、授業外で先生方に補習をして頂く毎日でした。高校三年間で達成した事と言えば、突出した愛校心が結実した皆勤賞くらいで、「学校が好きである」という気持ちだけが、唯一の誇り、心の支えでした。ふるさとの歌詞の一番、「兎追ひし彼の山 小鮎釣りし彼の川 夢は今も巡りて 忘れ難き故郷」を聞く度、高校時代を回想します。

創立期の母校は、歴史を創らんとする先生方と先輩方の熱意で満ち溢れていました。その恵まれた教育環境の中で、諸先輩方を目標に、一途に「学校づくり」や「伝統とは何か」を、屋上で学友と議論し合った事が良き思い出です。次に、二番の歌詞、「如何にいます父母 恙無しや友がき雨に風につけても 思ひ出づる故郷」。震災直後に、家族知人の安否確認が取れない中で、家中のバッグに食料を詰め込み、初めは山形空港経由で仙台入り。翌週は、福島空港経由で往復しました。その時、眺めた沿岸の風景が忘れられず涙した事もあります。家族、友人、先輩後輩の大切さを噛み締めました。最後に、三番では、「志を果たしていつの日にか帰らん 山は青き故郷 水は清き故郷」。母校は、自分を振り返る際の指標(道しるべ)になると思います。私も、遠く離れた地から「大切なもの(ルーツ)」を再確認しました。

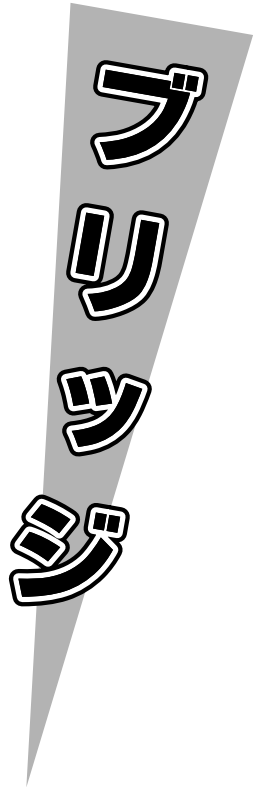
も強い意志を持って取り組みれば成就すると信じます。また、三浦綾子氏も著書の中で引用していますが、「試験は越えられる者にしか与えられない」。この言葉の中に希望を見出したいと思えます。母校は、私にとって、永遠の「心の故郷」「自分の原点」「人間形成の場」です。自分の人生は、「泉松陵で学ばなければ存在し得ない」と確信してきました。高校時代は、あつという間の三年間で、本気で楽しみ、大いに思索し、その中で自分を創り、各々の夢実現に向けて頑張っ



仙台白百合女子大学マリア像前にて「松陵生集合！」

の益々のご発展と、後輩達のご活躍を心より祈念致します。
「頑張れ松陵 頑張れ後輩」

先日、職場で、とても嬉しく思える出来事がありました。学生の自己紹介の中で、「出身高校は、この大学から一番近い高校です」と挨拶する学生がいました。それを受けて、「私の後輩です」と応えた事が、実に喜ばしかったです。ゼミにも数名の後輩が所属しています。今後も、多くの松陵生との出会いがある事でしょう。高校時代の夢「母校に帰る」という願いは、「母校に一番近い大学で働き、出身生と出会えた事」で、目標に近づけたのかもしれない。今後も、「指導頂いた恩師の方々の「教育愛」を目標に、感謝の気持ちを忘れず、自らの研究と、後進への教育活動をしていきたいと思えます。最後にになりましたが、母校



教育実習について

二十七回生 今野 和

大学で教師になることを目指して
から、教職課程で様々な事柄につ
いて勉強し、できるだけ準備をして
から教育実習に望みました。

教育実習は中学校か高等学校ど
ちからで行うものだったのですが、私
は迷わずに高等学校を選びました。
なぜならば、母校である宮城県泉松
陵高等学校でぜひ教育実習を行いた
いと思ったからです。

実習の一年前から泉松陵高校に
連絡をとり、教育実習を行うことが
できると決まったときはとても嬉し
かったのを覚えています。

実際に泉松陵高校に教育実習生と
して戻ってみると、学校の様子も私
が高校生の頃とあまり変わっておら
ず、懐かしい感じがしました。しか
し私の立場は変わっているので、気
を引き締めて教壇に立とうと思いま
した。

担任の先生をはじめ、現職の先生
方のお話や授業を参観させていただ
いて感じたことは、大学の講義だけ
では分からないことがたくさんあり、

実際の教育現場を肌で感じるこ
ができたことで考えさせられることが
多く、学ぶところばかりでした。中
でも先生に言われた「教育実習は今
後の人生に大きな影響を与える、生
徒に対して自己開示していけば、生
徒も心を開いてくる」といった言葉
が心に残っています。

若い高校生は本当に元気いっばい
で、毎日松陵祭の練習や部活動に精
力的に取り組んでいます。そんな高
校生に、高校時代の今しかできない
ことを積極的にやっていくことの大切
さを伝えられるよう、教育実習に
取り組んでいます。この経験を、こ
れからの自分の人生に活かしつつ、
生徒の心にも何か残せたらと思っ
ています。自分が精一杯高校生活を過
ごした母校で教育実習ができたこと
を心から感謝しています。

最後になりましたが、泉松陵高校
の今後益々のご発展を祈念申し上げ
ます。

母校で教育実習中

二十七回生 宮澤 唯

宮城県泉松陵高等学校に教育実習
生として母校に戻ってきて早くも二

週間が過ぎ去ろうとしています。

教育実習初日、泉松陵高等学校の
雰囲気は私が在学していた頃と変わ
らないと感じました。しかし、あい
さつをしつかり行う生徒が多く、こ
の点にとっても驚きました。どんな時
でもいかなる場所でも生徒のみなき
が元氣よくあいさつしてくれるの
です。あいさつがきっかけで多くの
生徒とコミュニケーションをとるこ
とが出来ました。

教育実習も二週目に入り、授業実
習が始まりました。また、学校にも
少しずつ慣れてきました。先生とし
て生徒の前に立つことは、毎回大変
緊張します。生徒の自由な発想から
私自身、そのような考え方があるの
かと学ぶことが多くあります。忙し
いですが、とても充実した日々を過
ごしています。

今週の金曜日と土曜日には松陵祭
が開催されます。イベントのために
頑張っている生徒の様子を見かける
と、私が在学していた時のことを大
変懐かしく感じます。
来週で教育実習が終わってしまい
ます。残り一週間、多くのことを吸
収したいと考えています。

教育実習について

二十七回生 猪股 裕朗

母校である泉松陵高等学校に教育
実習生という形で来る事ができた

ことを大変ありがたく思っておりま
す。そして、四年間という月日で新
しく泉松陵に赴任してきた先生も多
くいたことに新鮮さや期待感を持
ちました。また、先生方や同じ実習生
の気合いの入った表情を見たことで
これから自分自身で生徒と向き合い
三週間を充実したものにしよう
覚悟が芽生えてきました。このよう
に初日から印象に残るものであり、
覚悟や緊張感を味わうことができた
ことも勉強の一つとなりました。

自分自身の担当ではない教科の授
業や専門教科内でも多くの授業を聞
いたりしてみることで、人それぞれ
の授業の仕方があり、内容は同じで
も授業スタイルが違っていたため、
授業を見ていて楽しく思えました。

このように気付く点も多くあったの
で、日々勉強になっていました。そ
れに加えて授業内、授業外に関わら
ず、生徒に対して関わり方がとても
私自身からすると社会に出る前にと
ても勉強になったことだと思ってい
ます。そして、生徒にも多くの経験
をさせてもらったり、多くのことを
教えてもらったと思っています。私
自身も多くのことを先生方、生徒、
実習生から吸収することができた
思っているので、私自身から生徒た
ちが何かを吸収してくれていたら、
とても嬉しく感じます。

第1回卒業生・お世話になった先生方へ

卒業生有志で来年、卒業以来となる「第1回生同窓会」の企画を考えています。つきましては、その実施時期について①5月の連休、②8月のお盆、③12・1月の年末年始、いずれがよろしいか、あるいは企画全般へのご意見などありましたら、次の連絡先までお願いいたします。

第1回生有志代表 加藤直明、小山(山田)高史
jony@jcom.home.ne.jp (小山)

平成24年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計決算書

収入総額 2,823,680円
支出総額 2,035,109円
差引残額 788,571円

収入の部

(単位 円)

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 会費, 入会金, 年会費, 繰越金, 雑収入, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 1運営費, 会議費, 旅費, 慶弔費, 需用費, 通信費, 2事業費, 報償費, 会報発行費, 積立金, 3予備費, 合計.

通帳及び関係書類を監査したところ、いずれも適正に処理されていることを報告します。

平成25年6月15日 監事 伊藤 治子 印

平成25年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計予算書 (案)

収入の部 2,698,971円
支出の部 2,698,971円

収入の部

(単位 円)

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 会費, 入会金, 年会費, 繰越金, 雑収入, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 1運営費, 会議費, 旅費, 慶弔費, 需用費, 通信費, 2事業費, 報償費, 会報発行費, 積立金, 3予備費, 合計.



平成二十四年度同窓会総会には、初代事務長小林恒先生、中鉢光雄先生、大林校長先生、鈴木教頭先生に出席頂きました。

同窓生各位のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

同窓会報のデジタル化
今までは紙媒体でしたが、印刷して発行・発送してきまして、予算書を見て頂くとおわかりのように、かなりのお金使用しております。今後は当然同窓生は増え続けますので郵送料が増加していきま...

同窓会報のデジタル化

平成二十四年 喪主 佐竹由美子
十二月二日 女 葛西 洋子
ほか 親戚一同

訃報

本校初代校長 佐竹正久
父佐竹正久儀十一月三十日午後四時二十三分急逝致しました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます。追って通夜並びに葬儀は左記の通り相営みます。

同窓会事務局より

一、通夜十二月二日(日)午後五時於、菊葬会館
一、葬儀十二月三日(月)午後一時於、菊葬会館
(仙台市青葉区本町二丁目一九一五 泉序前)

◎平成24年度卒業生（平成25年3月卒業・30回生）進路状況

卒業生の進路状況

Table showing graduation status by gender and university type. Columns include: 卒業生人数, 進学 (国公立大, 私立大, 短期大学, 大学校, 看護系専門学校, 専修学校), 就職 (公務員, 一般企業), 受験準備未定・その他.

◎大学合格者（延べ合格数・○の中の数字は過卒者）

国公立大合格者

Table of national/public university admissions. Columns: 大学, 学部, 学科, 数. Includes entries for Miyagi University of Education, Miyagi University, Yamagata University, and Fukushima University.

Table of private university admissions. Columns: 大学, 学部, 学科, 数. Includes entries for Tohoku University, Miyagi University of Education, and various private colleges.

県内私大合格者

Table of private university admissions within Miyagi Prefecture. Columns: 大学, 学部, 学科, 数. Lists numerous private universities and their respective departments and student counts.

県外私大合格者

Table of private university admissions outside Miyagi Prefecture. Columns: 大学, 学部, 学科, 数. Lists private universities from other prefectures and their student counts.

短大合格者

Table of short-term university admissions. Columns: 大学, 学部, 学科, 数. Lists short-term universities and their student counts.

看護系（大学・短大は除く）合格者（延べ合格数）

Table of nursing-related admissions (excluding universities and short-term universities). Columns: 学校名, 学科, 数. Lists nursing schools and their student counts.

今春の進路状況

進路指導部長 阿部 敏夫

大学・短大

平成二十五年三月卒業生の大学進学状況は、国立大一名、私立大一名、短大一名、計三名、前年比十六名で全体の約六四％であった。

専修・各種学校

看護専門学校八名を含め、五十六名が専修・各種学校に進学した。全体の約二十％と昨年度よりも二％減少した。

高総体、その他の大会結果

卓球男子

一回戦 岡山0-3 県工業 (地区予選)

一回戦 中島0-3 東 (地区予選)

一回戦 中島0-3 青陵 (地区予選)

一回戦 藤田3-0 仙商 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

一回戦 藤田0-3 東 (地区予選)

公務員・就職

公務員試験は、宮城県警二名、自衛官五名の計七名、民間企業は(株)ヨタ自動車東日本、ヨークベニマルなど十名、合計十七名は全体の約六％(昨年度十七名)にあたる。

バレーボール女子

一回戦 対大河原商業0-2 (県大会)

一回戦 対トヨタボール男子 (地区予選)

一回戦 仙台13-57 泉松陵 (地区予選)

一回戦 泉松陵113-76 松島 (地区予選)

一回戦 宮城工業91-79 泉松陵 (地区予選)

一回戦 竹内智輝 赤間 佑 (地区予選)

一回戦 二次予選敗退 (県大会)

一回戦 赤間 佑 (地区予選)

一回戦 佐藤侑子 第6位 (地区予選)

一回戦 飯塚しの 目黒綾乃 (地区予選)

一回戦 高木千穂 高澤佳子 (地区予選)

一回戦 高澤佳子が宮城少年女子チームの選手として選出される (個人)

一回戦 高木千穂 高澤佳子 (個人)

一回戦 高澤佳子が宮城少年女子チームの選手として選出される (個人)

一回戦 高澤佳子が宮城少年女子チームの選手として選出される (個人)

一回戦 高澤佳子が宮城少年女子チームの選手として選出される (個人)

剣道女子

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

一回戦 阿部希望 (個人)

陸上競技女子

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

予選1組11位 村上里佳子 (地区予選)

平成二十五年 教職員人事異動

〔転出者〕 大林 茂校長(国語) 定年退職

村上 道博(英語) 名取高へ

遠藤 英樹(英語) 迫高へ

河野 雅一(英語) 古川黎明高へ

小成田 徹(国語) 仙台南高へ

石垣 賢(地歴公民) 県工業高へ

相原 淳一(主事) 定年退職

丹野 正平(主任技師) 定年退職

〔転入者〕 杉内 弘行校長(地歴公民)

富田 俊郎(数学) 古川黎明高より

鈴木 正弘(英語) 塩釜高より

佐伯 隆徳(地歴公民) 石巻北高より

阿部 光壽(英語) 古川黎明高より

宇和野 修(保健体育) 角田高より

佐藤 耕三(数学) 水産高より

鎌本 正人(国語) 仙台南高より

伊藤 浩安(事務室長) 仙台一高より

鈴木 郁恵(主事) 大沢小より